

江別市の学校給食費の改定案について

1 給食費改定の理由

今後も物価高騰は継続するものと予想され、給食の原材料費が上昇していく中で、給食会計がより厳しいものとなることを見込まれる。

令和4年度及び令和5年度は、市から補助金の交付を受け、保護者負担を増やすことなく、栄養バランスや量を保った給食を提供してきたところであるが、令和6年度においては、こうした補助がないものと考えた場合、給食を安定的に提供し続けるためには、給食費単価の改定はやむを得ないものと考えられる。

2 改定率

物価上昇率を勘案した場合、令和2年基準の食料全般に係る消費者物価指数の令和6年4月における推計値は【17.6%】であり、本来であれば、この値を改定率として考えるところである。

しかしながら、令和4年度は、令和5年3月の消費者物価指数が【10.4%】であった状況において、市からの補助金の受領や献立設定の工夫により栄養バランスや量を維持した上で、総支出額を前回の改定年度である令和2年度と比べて【3.7%】の増に抑えて執行したことから、今回改定率は、この【3.7%】に、令和5年度中の消費者物価指数の上昇幅推計値【6.0%】を加えた【**9.7%**】と算定するものである。

3 算定根拠

改定率 9.7%	=	令和4年度支出額の 令和2年度比 (下記①参照) 3.7%	+	令和5年度中における 消費者物価指数の上昇幅推計値 (下記②参照) 6.0%
--------------------	---	---	---	--

① 令和2年度及び令和4年度における支出額の比較

年 度	収 入			支 出			
		給食費	市補助金		年間食数	R4年度 食数換算	R2年度比
令和2年度	536,632千円	536,632千円	0千円	528,845千円	1,692,453食	551,561千円	-
令和4年度	577,156千円	551,671千円	25,485千円	572,108千円	1,765,148食	572,108千円	3.7%

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う学校・学級閉鎖により、年間の給食食数が少なく、支出額をそのまま比較することができないため、令和4年度の食数で、令和2年度の支出額を換算し直し、両年度の金額を比較した。

② 消費者物価指数の推計

今回算定に用いる、食料全般に係る消費者物価指数は、総務省統計局が月ごとに公表しているものであり、令和2年を基準（100）としたものである。

令和5年4月から7月までの指数の上昇幅は【1.5%】であり、これを平均すると、ひと月当たり【0.5%】ずつ上昇していることとなる。

8月以降は、この【0.5%】ずつ上昇していくものと考え、令和6年4月までに【6.0%】上昇することとなる。

このことから、今回改定率には、この【6.0%】を加えることとしたものである。

4 改定した場合の単価

区分		現行(円)	改定率	改定後(円)	増減
小学校	1・2年	289 円	109.7%	317 円	28 円 ↑
	3・4年	292 円		320 円	28 円 ↑
	5・6年	295 円		323 円	28 円 ↑
中学校	351 円	385 円		34 円 ↑	

5 1か月及び12か月当たりの増減見込額

区分		小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
1か月 (16食)	現行	4,624 円	4,672 円	4,720 円	5,616 円
	改定後	5,072 円	5,120 円	5,168 円	6,160 円
	増減	448 円 ↑	448 円 ↑	448 円 ↑	544 円 ↑
12か月 (189食)	現行	54,621 円	55,188 円	55,755 円	66,339 円
	改定後	59,913 円	60,480 円	61,047 円	72,765 円
	増減	5,292 円 ↑	5,292 円 ↑	5,292 円 ↑	6,426 円 ↑